

日本神経精神薬理学会
第46回理事会(2010年度)議事録

日時: 2010年3月19日(金) 14:00~17:30

場所: 八重洲倶楽部 第11会議室

(〒104-0028 東京都中央区八重洲2-1 八重洲地下街中1号 TEL: 03-3275-0801)

出席者: 米田幸雄(理事長), 池田和隆, 大森哲郎, 尾崎紀夫, 齋藤利和, 曾良一郎
武田弘志, 仲田義啓, 松田敏夫, 山田清文, 山本経之, 吉岡充弘(以上、理事)
加藤進昌(監事), 山脇成人(アドバイザー)

欠席者: 石郷岡 純, 小山 司, 武田雅俊, 野村総一郎(以上、理事), 五味田 裕(監事)

記録: 佐々木真紀, 中川庸幸(事務局: 学会支援機構)

米田幸雄理事長から前回(第45回)理事会議事録(案)及び2009年度評議員会/総会議事録(案)が提出され、承認された。

報告事項

1. 第39回年会(第19回日本臨床精神神経薬理学会と第1回アジア神経精神薬理学会合同開催)収支報告について
第39回年会 米田会長から会計収支を含めた開催報告がなされた。

2. 各委員会報告

a. 総務委員会(齋藤理事)

以下の通り会員報告(2009年11月1日から2010年2月28日)がなされた。

会員数: 1,159名(2010年2月28日現在)

内訳: 名誉会員 21名, 評議員 177名, 正会員 938名, 賛助会員 23社

新入会: 26名

退会: 本人申出 29名

逝去 5名

物故者 名誉会員 中澤恒幸 先生 2010年2月3日ご逝去

評議員 山口和政 先生 2009年ご逝去

一般会員 大月三郎 先生 2009年11月13日ご逝去

一般会員 中川照丈 先生 2009年11月1日ご逝去

一般会員 西森司雄 先生 2009年12月13日ご逝去

b. 編集委員会(石郷岡理事が欠席のため米田理事長から報告)

雑誌刊行状況、依頼状況、査読状況につき以下の報告がなされた。

1. 刊行状況, 依頼状況, 査読状況

1) 刊行状況

第29巻(2009年): 総説17, MR6, 原著4を掲載。

第30巻(2010年): 総説1, MR3を掲載(30-1)

(30-2は総説1, MR1と, 学会シンポジウム(総説)4編を掲載予定)

2) 依頼状況

昨年ご寄稿いただいた原稿は7編である(学会シンポジウムは除く)。

3) 査読状況

昨年の投稿は総説2, 原著2(うち英文0), 短報1の計5編にとどまっている。

本年の投稿は原著1編である。査読中はそのうち2編である。

(2010年3月11日現在)

2. 執筆依頼・企画

例年どおり編集委員による総説とミニレビューの依頼をする。昨年の学会シンポジウムの依頼をすでに終え、今年も引き続き掲載していく予定である。

c. 財務委員会（武田(弘)理事）

審議事項にて掲載。

d. 国際学術委員会（尾崎理事）

報告事項は特になし。

e. 学術賞選考委員会（山本理事）

1. 本年度の審査対象論文は、臨床系研究論文 2 件および非臨床系研究論文 1 件の 3 件の予定である。

2. 前回の理事会において、ここ数年、審査対象論文が減少傾向にあり、今後の対策と学術賞あり方について議論していく必要があるとの提言があった。選考内容の性質から学術賞ではなく論文賞が妥当ではないかとの意見や、学術賞の名称を残し選考内容の改正が望ましいとの意見が出された。

本件は機関誌のあり方も含めて議論していくべき内容であることから、編集委員会と学術賞選考委員会でワーキンググループを設置し、理事会へ答申することになった。

f. 長期計画委員会（小山理事が欠席のため米田理事長から報告）

報告事項は特になし。

g. 広報委員会（吉岡理事）

本学会ホームページの最新の掲載内容について報告がなされた。

h. 研究推進委員会（武田(雅)理事欠席のため米田理事長から報告）

報告事項は特になし。

i. 倫理委員会（松田理事）

報告事項は特になし。

3. JSNP/JSCNP 合同委員会報告（米田理事長）

昨年の合同年会前日に JSNP/JSCNP 合同委員会を開催した。JSNP と JSCNP の将来的な統合に関する意見交換を行った。

合同大会を継続していくことで、統合に関するコンセンサスを将来得ることができれば良いとの意見でまとまりはしていたが、双方の認識に温度差がある点も多く、継続した協議・意見交換が必要であるとの報告がなされた。

4. 第 40 回年会（第 20 回日本臨床精神神経薬理学会と合同開催準備状況報告（曾良会長）

曾良次期会長から年会準備状況について報告がなされた。

1) 第 40 回日本神経精神薬理学会年会

日時：2010 年 9 月 15 日（水）～ 17 日（金）（9 月 14 日（火）は理事会・各委員会開催予定）

会場：仙台国際センター（仙台市）

会長：曾良一郎（東北大学大学院医学系研究科精神・神経生物学分野・教授）

第 20 回日本臨床精神神経薬理学会（大谷浩一 CNP 会長）と合同開催

2) 学生、若手研究者、精神科専門薬剤師の認定を目指す薬剤師の方々などを対象として会期前日に「精神薬理学公開集中講座」（受講料無料）を企画した。

- 3) 学生(学部・大学院生)は事前登録, 当日登録ともに参加費を無料とした。
- 4) 今期は役員改選年度となり評議員会会場にて投票, 開票を行うことから、より多くの評議員に出席を促すため、開催日を会期2日目に変更してもらうよう要請することになった。また、同日には新理事会を開催し、新理事長を選出するスケジュールも確認された。
- 5) 利益相反に関する指針について
第40回年会での演題登録受付準備において、利益相反に関する指針について実行委員会事務局で議論となった。本件は本学会としてどのような方針をとるか理事会で検討すべき内容であることから、曾良会長から理事会へ問題提起がなされた。
大学内では利益相反に関する指針が定められているが、時代の流れとして、学会が個別に設置すべきものなのか。また、報告・申告の範囲はどこまで含まれるのかなど、関連学会の指針も参考に議論がなされたが、当会としてはもう少し議論を深める必要があるとして、理事会での継続審議事項とした。

5. 第41回年会(第21回日本臨床精神神経薬理学会と合同開催)準備状況報告(米田理事長)
資料に基づき、以下の報告がなされた。
日時: 2011年10月27日(木)~29日(土)
会場: 京王プラザホテル
会長: 鈴木 勉(星薬科大学薬品毒性学教室・教授)
第21回日本臨床精神神経薬理学会(野村総一郎会長: 防衛医科大学校精神科科学講座・教授)と合同開催

6. CINP 2010 香港(山脇アドバイザー)
資料に基づき、6月6日から10日まで香港で開催されるCINP 2010について報告がされた。なお、当会名誉会員の大熊輝雄先生がThe winners of the 2010 CINP Pioneer in Psychopharmacology Awardをアジア圏で初めて受賞されることになり、初日のオープニングセレモニーで表彰されることが報告された。本会も大熊輝雄先生の受賞について、広報することになった。

7. その他
米田理事長から、CINPの次期役員選挙(CINP OFFICERS 2011-2013)があり、日本からは理事長候補として山脇成人アドバイザーが、および理事候補には齋藤利和理事がそれぞれ指名されているので、日本人CINP会員に対する協力を要請中であるとの報告があった。

審議事項

1. 大会補助金の増額について(武田(弘)理事)
大会運営が厳しい折でもあることから米田理事長からの要請を受け、財務委員会において、ここ数年の収支推移を基に補助金増額について検討を行ってきた。協議の結果、合同年会の趣旨もあり本学会も2011年度予算から大会補助金を80万円へ増額することが承認された。
2. 学生会員資格の新設について(齋藤理事)
学生会員制度を新設することが理事会で承認されたため、学生会員資格及び年会費を設定した会則改定案が提出され、協議の結果、以下のとおり承認した。
なお、施行については、今回の第40回年会において、学生資格の者は参加費を無料とする企画を支援することを目的に、承認日は今年の評議員・総会の開催日となるが、承認後の効力の発生(施行日)は2010年1月1日まで遡り適用することが承認された。また、その間、支払われた年会費については、次年度分会費として手続きすること、2年目以降の学生資格の確認については、年会費請求時に指導教員の署名・捺印を提出するよう案内することになった。

現 行	改定案
<p>第 8 条 本会の会員は、次のとおりとする。</p> <p>1. 一般会員 2. 名誉会員 3. 賛助会員</p>	<p>第 8 条 本会の会員は、次のとおりとする。</p> <p>1. 一般会員 <u>2. 学生会員</u> 3. 名誉会員 4. 賛助会員</p>
<p>第 9 条 一般会員は、神経精神薬理学領域の活動に従事する者で、評議員が推薦し、理事会の承認を得た者とする。一般会員として入会を希望する者は、所定の申込用紙に必要事項を記載し、年度会費を添えて事務局に申し込まなければならない。</p>	<p>第 9 条 <u>一般会員及び学生会員</u>は、神経精神薬理学領域の活動に従事する者で、評議員が推薦し、理事会の承認を得た者とする。<u>一般会員または学生会員</u>として入会を希望する者は、所定の申込用紙に必要事項を記載し、年度会費を添えて事務局に申し込まなければならない。</p>
<p>第 12 条 会員は、機関誌の配布を受け、一般会員及び名誉会員は学術集会、機関誌などに研究成果を発表できる。</p>	<p>第 12 条 会員は、機関誌の配布を受け、<u>一般会員と学生会員</u>及び名誉会員は学術集会、機関誌などに研究成果を発表できる。</p>
<p>第 14 条 一般会員の年度会費は 8,000 円とし、各年度の初めに納入するものとする。ただし評議員の年度会費は、10,000 円とする。</p>	<p>第 14 条 一般会員の年度会費は 8,000 円とし<u>学生会員の年度会費は 4,000 円とする。</u>年会費は各年度の初めに納入するものとする。ただし評議員の年度会費は、10,000 円とする。</p>
	<p>附則 2 学生会員資格については、2010 年評議員会承認後、その施行日を 2010 年 1 月 1 日まで遡り適用するものとする。</p>

3. CINP2010 優秀演題賞選考の件（山本理事）

1) JSNP Excellent Presentation Award for CINP 2010 として 2 月 2 日（2 月 5 日着が 1 件有）に締め切った。25 件の応募があり、応募者全員が学会員であることを確認した。

2) 審査方法について

(1) 一次審査として日本神経精神薬理学会学術賞選考委員会の委員（8 名）により、提出された Abstract を下記の審査項目を 4 段階評価で採点する（平均スコアを算出）。また、英文内容についても評価対象とする。

- 審査項目
- 1) 研究の独創性 / 斬新性並びに方法の妥当性
 - 2) 結果の明確性
 - 3) 考察の洞察力
 - 4) 神経精神薬理学への貢献度

4 : 最も優れている, 3 : 優れている, 2 : ふつう, 1 : 劣っている - の 4 段階評価。

(2) 選考委員が応募者の所属と同じ場合には審査対象から外し、それ以外の審査委員の平均スコアを算出し評価する。

(3) 一次選考として採点の平均スコアを基に順位を決定する。受賞枠は 20 名まで可能であるが、上位 20 名を選考するという意味ではない。

(4) 二次選考として今回の Award の趣旨を尊重し、より多くの若手研究者に国際会議へ出席していただきたいとの目的から、年齢を優先的な選考基準として最終受賞者を

決定する。

3) 選考結果とその発表

(1) 選考委員会による受賞対象者の決定は4月下旬までに行い、メールにて理事会に報告し了承を得る。その後、JSNP事務局から受賞者宛てに賞状授与のための現地集合日時を提示する。

(2) 賞金はCINP2010終了後、事務局から送金する。

以上の提案がなされ、協議の結果、学術賞選考委員会にて上記の手続きに基づき、審査することが承認された。

4. 次々期会長選出の件(2012年)

2012年の年会会長について、同年は臨床系の会長を推薦する年であることから協議の結果、石郷岡 純 教授(東京女子医科大学精神医学)が推挙され、全会一致で承認し、石郷岡教授の受諾を待つこととなった。

5. 名誉会員推戴の件(齋藤理事)

名誉会員推戴候補者が提示され、協議の結果、全会一致で全員が承認されて、2010年度評議員会へ推薦することになった。

安東 潔 先生, 笹 征史 先生, 佐藤光源 先生, 高橋清久 先生, 中嶋敏勝 先生

6. 新評議員推薦の件(齋藤理事)

以下の7名が推薦されており、審議の結果、評議員として委嘱することが承認された。(敬称略)

中道範隆(金沢大学医薬保健研究域薬学系分子薬物治療学研究室)

北山友也(広島大学大学院医歯薬学総合研究科病態探究医科学講座歯科薬理学)

吉尾 隆(東邦大学薬学部医療薬学教育センター臨床薬学研究室)

福永浩司(東北大学大学院薬学研究科薬理学分野)

新田淳美(富山大学大学院医学薬学研究部(薬学)薬物治療学)

倉本展行(摂南大学薬学部薬理学研究室)

米山雅紀(摂南大学薬学部薬理学研究室)

7. 新入会希望者承認の件(齋藤理事)

2009年11月1日から2010年2月28日までに26名の入会申込者があったことが報告され、全員の入会が承認された。

8. 事務局業務委託契約について(齋藤理事)

事務委託契約書(案)が提出され、審議の結果、委託を継続することが承認された。

9. その他

1) 功労会員制度の新設について

これまで規定がないために、評議員や委員会委員として学会に長く貢献された先生方が定年退職を機に退会されていることを受け、いままでの学会への功労に応えるためにも、功労会員制度の新設について提案がなされ、協議の結果、提案が承認された。具体的な基準や規定については、総務委員会で検討し、理事会で審議することになった。

以上

平成22年3月19日
日本神経精神薬理学会
理事長 米田 幸雄